

Nojima

株式会社 ノジマ

〒231-0015 神奈川県横浜市中区尾上町6-90 HS大江橋ビル

TEL.050-3116-1212(代) FAX.050-3116-1250

「投資家のみなさま」専用メールアドレス info@nojima.co.jp

<http://www.nojima.co.jp>

■ い〜でじ!!ホームページURL

- い〜でじ!!本店 :<http://www.enet-japan.com/>
- い〜でじ!!楽天市場店 :<http://www.rakuten.co.jp/edigi/>
- い〜でじ!!楽天ゲーム館 :<http://www.rakuten.co.jp/edigi-game/>
- い〜でじ!!楽天シネマ :<http://www.rakuten.ne.jp/gold/cinema/>
- い〜でじ!!Yahoo店 :<http://store.yahoo.co.jp/digicon/>
- い〜でじ!!映画館 :<http://store.yahoo.co.jp/digiconeiga/>
- い〜でじ!!ライブドア店 :<http://tenant.depart.livedoor.com/t/edigi-ld/>
- い〜でじ!!ムービー :<http://tenant.depart.livedoor.com/t/edigi-movie/>
- 株式会社テレマックス :<http://www.telmax.co.jp>
- 株式会社ウェイヴ :<http://www.waveweb.co.jp>



投資家のみなさまへ

第44期 事業報告書 平成17年4月1日▶平成18年3月31日

■ 全員経営理念 ～お客様にさらに信頼されるノジマへ～

社会に貢献する経営 オープンで公正な経営 独創的で革新的な経営 人間愛がある経営 向上心がある経営

■ ぐあいさつ

投資家のみなさまにおかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より格別のご高配、ご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、平成18年3月31日をもちまして、当社第44期の営業を終了いたしましたのでここにご報告申し上げます。

当期のわが国経済は、企業収益の改善、雇用情勢の改善の兆しがあり、一部には株価上昇による資産効果により個人消費にも若干の回復傾向がみられましたが、依然として個人消費は本格的な回復には至りませんでした。そうした状況におきまして、デジタル家電業界は、地上デジタル放送の広がり、液晶ディスプレイを中心とした薄型大型テレビの低価格化により表面的には順調な伸びを示したものの、業界全体においては価格競争のさらなる激化が進み、収益への貢献が非常に厳しいものとなりました。経営戦略と企業体質の優劣により企業格差が拡大する様相を呈しています。このような状況の下、当社では、店舗のスクラップ&ビルドを予定通り行い、不採算店や新店と商圈が重なる5店舗を閉店し、その一方で4店舗を開店いたしました。(でんわ専門店を除く)

当社における販売の状況につきましては、2004年夏季にオリンピック、猛暑があり2005年度である本年度にはその反動減が懸念されたものの、お客様の立場に立った顧客満足の増大を推進した結果、AV及び家電等のデジタル家電商品が比較的好調な売上で推移いたしました。携帯電話につきましてはおサイフケータイ等第三代端末の販売が好調で、販売台数は昨年比べて堅調な伸びを示しましたが需要期における激しい価格競争の影響を受けました。パソコンにつきましては個人需要の低迷、低価格化により前年度を下回る結果となりました。

当社は中長期的な経営戦略に基づく業容拡大と音楽産業を支えるという使命感の下、CD・DVD販売の専門店の株式会社ウェイヴを子会社化しCD・DVDの拡販のみならず、合わせて新しい店舗作りにより同社の客層に当社の得意分野である携帯電話をはじめとしたモバイル機器や半導体オーディオを販売、また当社子会社のイーネット・ジャパンへのCDの供給等、当社グループ内におけるシナジー効果に繋げることを狙いとしております。このような結果、当期売上高は95,342百万円(前期比 11.9%増)、経常利益 2,338百万円(前期比 2.0%増)、当期純利益 1,298百万円(前期比 51.4%増)と増収増益決算となりました。

また、グループ全体としましては、連結売上高 118,012百万円(前期比 18.2%増)、経常利益 3,080百万円(前期比 22.0%増)、当期純利益 1,608百万円(前期比 57.7%増)と過去最高益となりました。今後も、グループの総合力を高めながら、投資家の皆様の期待に応えられるよう収益体質の改善に努力をしておりますので、皆様の変わらぬご支援とご指導をよろしくお願いいたします。

代表執行役社長 三枝 達実



Q&A

Q 今後の店舗展開はどうか？

A 当社の店舗展開の戦略としては、引き続き無理な出店拡大はせず、機動的にスクラップ&ビルドを実践することにある「自然体出店」を継続方針としております。小型店もしくは業績の悪い店舗、さらには黒字であっても将来性が見込めない店舗の撤退判断を迅速果敢に行い、大型店へのリニューアル並びに複合型ショッピングセンターへの進出を果たして行く予定です。

下期は、旧相模原本部セクションの跡地に、多階層型の大型店舗を建設、当社発祥の地である相模原に確固たる旗艦店をオープンさせます。更には、静岡エリアにおきまして、売場面積1,000坪を越える店舗を出店いたします。この他複数の大型店舗の出店を検討しておりますが、いずれもむやみに店舗数を増やすことなく、両輪として閉店も検討しつつ出店を進めて参ります。

Q 今期の見通しについてお聞かせください。

A わが国経済は、好調な企業業績と緩やかな景気回復があるものの、個人消費の本格回復には至っておりません。そうした状況におきまして、デジタル家電業界は、地上デジタル放送のさらなる広がり、サッカーワールドカップの開催により薄型大型テレビの販売は順調な伸びを示すものと予想されますが、一方で販売単価のダウンと価格競争の激化により、業界では引き続き消耗戦が継続されるものと予想されます。

また、今秋実施が予定されているナンバーポータビリティも携帯電話販売の拡大に繋がるものになると予想される反面、キャリア間の競争が激化し価格低下が懸念されます。

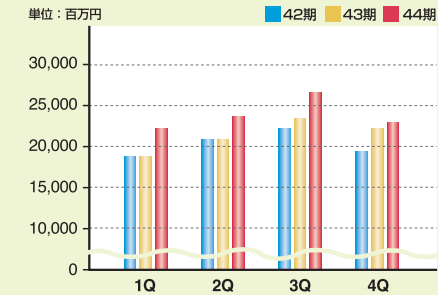
こうした中で、当社は、常にお客様の立場に立って、お客様にご満足いただけるよう行動し、その結果としてお客様にご支持いただけるよう努めてまいります。

具体的にはIT・デジタル・通信商品の取り扱いにおいて地域No.1を目指し、豊富な品揃えとお買い得No.1の価格政策に加え、関連するサービス等の提供による多面的な差別化と独創的で革新的かつスピードのある行動を目指しております。

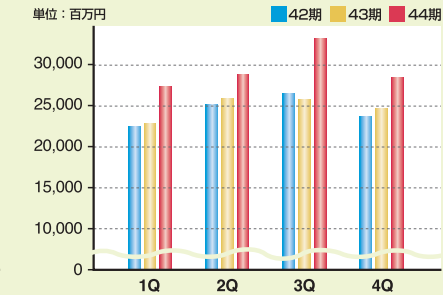
上記の基本方針のもと、通期見通しとして、単体では売上高1,015億円、経常利益27億円、連結では、売上高1,345億円、経常利益36億円を見込み、純利益につきましては、単体13.3億円、連結18億円を公表しておりますが、更に上方を目指しております。

四半期数値変動

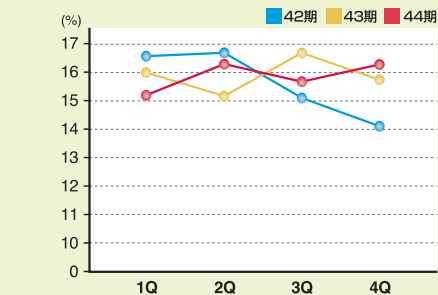
売上高の推移 単体



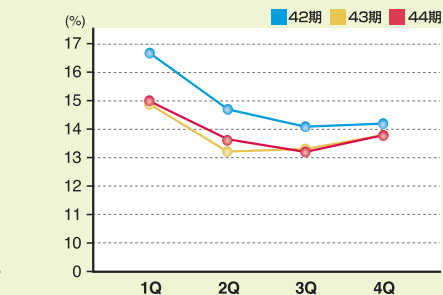
売上高の推移 連結



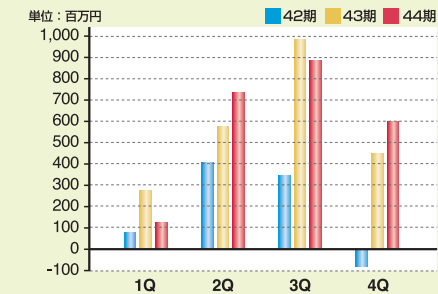
売上総利益率の推移 連結 (ポイント販促費を除く)



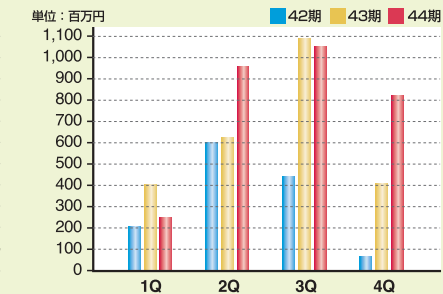
販管費比率の推移 連結 (ポイント販促費を除く)



経常利益の推移 単体



経常利益の推移 連結



財務ハイライト

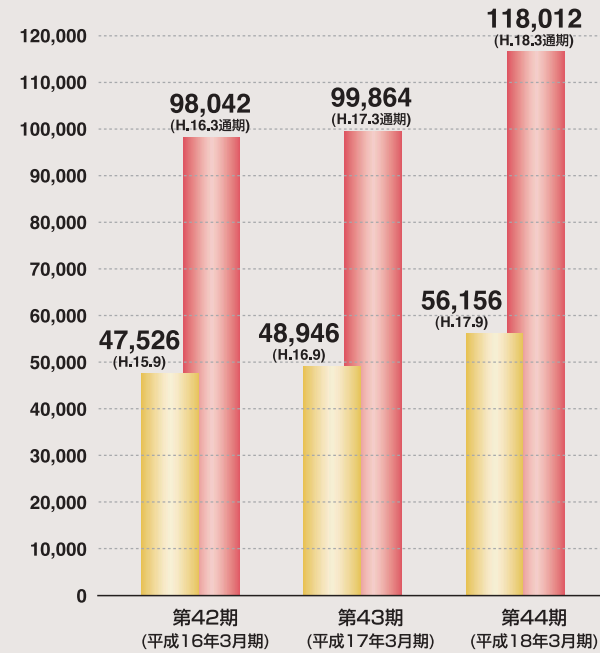
(平成17年4月～平成18年3月)

連結

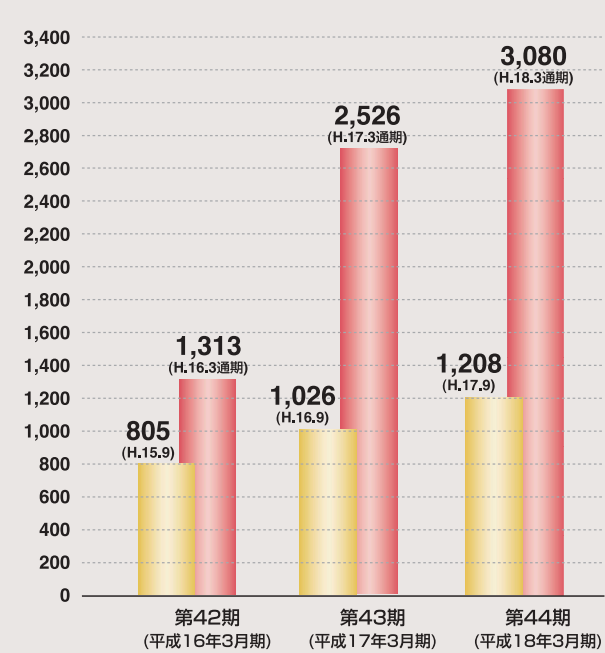
(単位:百万円、単位未満切り捨て)

■ 売上高 / **1,180億1,200万円** ■ 経常利益 / **30億8,000万円** ■ 純利益 / **16億800万円**

売上高の推移 (単位:百万円)



経常利益の推移 (単位:百万円)



連結	第42期 平成16年3月通期	第43期 平成17年3月通期	第44期 平成18年3月通期
売上高	98,042	99,864	118,012
経常利益	1,313	2,526	3,080
純利益	500	1,019	1,608
1株当たり純利益(円)*	36.49	72.45	111.07
総資産	32,481	34,778	40,905
純資産	6,748	7,519	10,805

*平成16年8月20日付をもって、普通株式1株を2株に分割しているため、42期の1株当たり純利益を同条件に変更しております。

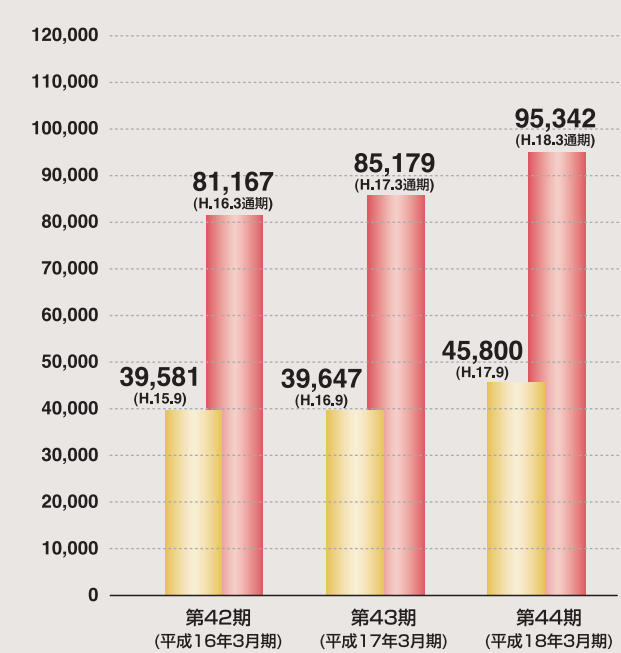
(単位:百万円、単位未満切り捨て)

単体

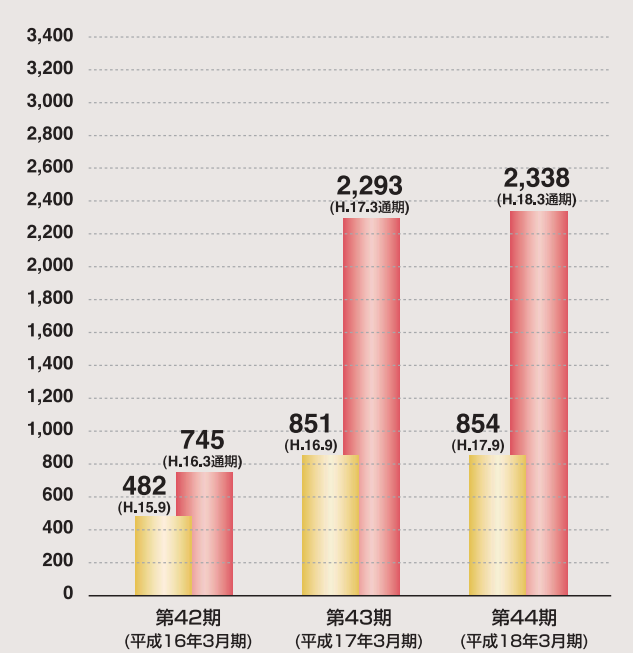
(単位:百万円、単位未満切り捨て)

■ 売上高 / **953億4,200万円** ■ 経常利益 / **23億3,800万円** ■ 純利益 / **12億9,800万円**

売上高の推移 (単位:百万円)



経常利益の推移 (単位:百万円)



単体	第42期 平成16年3月通期	第43期 平成17年3月通期	第44期 平成18年3月通期
売上高	81,167	85,179	95,342
経常利益	745	2,293	2,338
純利益	249	857	1,298
1株当たり純利益(円)*	18.22	60.95	89.71
総資産	29,337	30,772	34,742
純資産	6,439	7,044	10,020

*平成16年8月20日付をもって、普通株式1株を2株に分割しているため、42期の1株当たり純利益を同条件に変更しております。

(単位:百万円、単位未満切り捨て)

● 決算の概況 (平成18年3月31日現在)

連 結

(単位:百万円、単位未満切り捨て)

貸借対照表(期末) 平成18年3月31日現在。前期は平成17年3月31日現在。

	第43期 (通期)	第44期 (通期)		第43期 (通期)	第44期 (通期)
現金及び預金	4,337	6,205	支払手形及び買掛金	9,739	10,577
受取手形及び売掛金	5,435	6,243	短期借入金	690	1,700
たな卸資産	9,799	12,342	1年以内返済予定長期借入金	2,464	3,043
その他	1,475	1,785	1年以内償還予定社債	120	1,070
貸倒引当金	▲465	▲27	未払金	2,385	2,432
流動資産合計	20,582	26,539	未払法人税等	654	959
建物及び構築物	3,659	3,794	その他	784	1,234
土地	1,644	1,644	流動負債合計	16,838	21,015
その他	965	1,239	社債	1,630	560
有形固定資産合計	6,269	6,677	長期借入金	6,066	6,022
無形固定資産合計	704	632	退職給付引当金	715	900
差入敷金及び保証金	4,950	5,353	その他	1,331	1,370
その他	2,297	1,729	固定負債合計	9,743	8,852
貸倒引当金	▲25	▲25	負債合計	26,582	29,867
投資その他の資産合計	7,222	7,057	少数株主持分	679	233
固定資産合計	14,195	14,366	資本金	1,529	2,430
			資本剰余金	1,945	2,845
			利益剰余金	4,086	5,546
			その他有価証券評価差額金	41	60
			自己株式	▲83	▲76
			資本合計	7,519	10,805
資産合計	34,778	40,905	負債・少数株主持分及び資本合計	34,778	40,905

損益計算書(通期) 平成18年3月31日現在。前期は平成17年3月31日現在。

	第43期 (通期)	第44期 (通期)
売上高	99,864	118,012
売上原価	83,952	99,267
売上総利益	15,912	18,744
販売費及び一般管理費	13,763	16,332
営業利益	2,148	2,411
営業外収益	846	953
営業外費用	469	284
経常利益	2,526	3,080
特別利益	216	134
特別損失	670	392
税金等調整前当期純利益	2,072	2,822
法人税、住民税及び事業税	927	1,211
法人税等調整額	50	26
少数株主利益	▲75	24
当期純利益(▲当期純損失)	1,019	1,608

単 体

(単位:百万円、単位未満切り捨て)

貸借対照表(期末) 平成18年3月31日現在。前期は平成17年3月31日現在。

	第43期 (通期)	第44期 (通期)		第43期 (通期)	第44期 (通期)
現金及び預金	3,236	4,893	支払手形	42	31
受取手形	84	0	買掛金	8,193	8,542
売掛金	3,276	4,032	短期借入金	200	200
たな卸資産	8,934	9,838	1年以内返済予定長期借入金	2,404	2,983
その他	1,358	1,677	1年以内償還予定社債	100	1,050
流動資産合計	16,889	20,440	未払金	2,075	2,077
建物	3,449	3,443	未払法人税等	528	673
土地	1,644	1,644	その他	772	828
その他	993	1,027	流動負債合計	14,316	16,384
有形固定資産合計	6,087	6,114	社債	1,550	500
無形固定資産合計	141	181	長期借入金	5,891	5,907
差入敷金及び保証金	4,776	4,992	退職給付引当金	645	674
その他	2,877	3,017	その他	1,324	1,260
投資その他の資産合計	7,653	8,009	固定負債合計	9,410	8,341
固定資産合計	13,882	14,305	負債合計	23,727	24,725
			資本金	1,529	2,430
			資本準備金	1,945	2,845
			利益準備金	80	80
			任意積立金	97	97
			当期末処分利益	3,434	4,584
			その他有価証券評価差額金	41	60
			自己株式	▲83	▲76
			資本合計	7,044	10,020
資産合計	30,772	34,746	負債・資本合計	30,772	34,746

損益計算書(通期) 平成18年3月31日現在。前期は平成17年3月31日現在。

	第43期 (通期)	第44期 (通期)
売上高	85,179	95,342
売上原価	71,659	79,975
売上総利益	13,520	15,367
販売費及び一般管理費	11,816	13,650
営業利益	1,703	1,716
営業外収益	818	892
営業外費用	228	269
経常利益	2,293	2,338
特別利益	7	116
特別損失	652	242
税引前当期純利益	1,647	2,213
法人税、住民税及び事業税	709	854
法人税等調整額	80	59
当期純利益	857	1,298
前期繰越利益	2,648	3,364
当期末処分利益	3,434	4,584

連結キャッシュ・フロー計算書

平成17年4月1日から平成18年3月31日まで。
前期は平成16年4月1日から平成17年3月31日まで。

営業活動によるキャッシュ・フロー

(単位:百万円、単位未満切り捨て)

区分	期別	第43期 (通期)	第44期 (通期)
税金等調整前中間(当期)純利益		2,072	2,822
減価償却費		696	850
退職給付引当金の増加(▲減少)額		▲34	16
支払利息		229	194
販売商品保証引当金の増加額		36	▲79
持分法による投資損失		199	—
固定資産売却損		37	—
固定資産売却益		—	—
固定資産除去損		71	235
保証金等解約損		68	7
投資有価証券売却益		▲6	▲70
投資有価証券評価損		32	—
売上債権の(▲増加)額		▲683	▲332
たな卸資産の減少(▲増加)額		▲782	▲1,365
仕入債務の増加(▲減少)額		2,007	323
その他		▲240	▲118
小計		3,703	2,483
利息及び配当金の受取額		31	34
利息の支払額		▲226	▲220
法人税等の支払額		▲941	▲908
営業活動によるキャッシュ・フロー		2,565	1,388



投資活動によるキャッシュ・フロー

(単位:百万円、単位未満切り捨て)

区分	期別	第43期 (通期)	第44期 (通期)
投資有価証券取得による支出		—	▲9
投資有価証券売却による収入		7	124
有形固定資産の取得による支出		▲821	▲943
有形固定資産の売却による収入		49	28
無形固定資産の取得による支出		▲123	▲269
長期前払費用の取得による支出		▲63	▲63
差入敷金及び保証金の預入による支出		▲646	▲544
差入敷金及び保証金の償還による収入		343	252
その他		▲307	▲57
投資活動によるキャッシュ・フロー		▲1,561	▲1,481

財務活動によるキャッシュ・フロー

(単位:百万円、単位未満切り捨て)

区分	期別	第43期 (通期)	第44期 (通期)
短期借入金純増(▲純減)額		▲405	▲391
長期借入による収入		2,100	3,000
長期借入金の返済による支出		▲2,218	▲2,479
社債の発行による収入		100	—
社債の償還による支出		▲100	▲120
少数株主へ株式発行による収入		596	1
自己株式の取得による支出		▲78	▲9
自己株式の売却による収入		—	1,800
配当金の支払額		▲174	▲140
財務活動によるキャッシュ・フロー		▲179	1,660

現金及び現金同等物の増(▲減)額	824	1,565
現金及び現金同等物期首残高	2,665	3,153
現金及び現金同等物期末残高	3,153	4,432

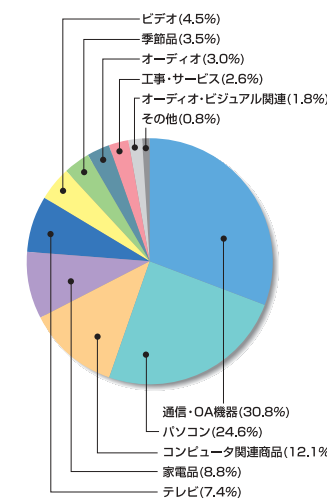
品目別売上高

(平成18年3月31日現在)

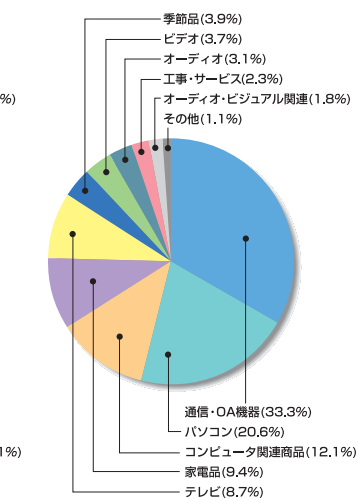
区分	期別	前決算	当決算
		連結会計期間 (平成16年4月1日 平成17年3月31日)	連結会計期間 (平成17年4月1日 平成18年3月31日)
パソコン		24,609,659	24,355,685
通信・OA機器		30,766,557	39,257,719
コンピュータ関連商品		12,129,584	14,226,864
テレビ		7,354,324	10,313,342
ビデオ		4,459,086	4,363,169
オーディオ		2,995,674	3,683,231
オーディオ・ビジュアル関連商品		1,840,337	2,134,245
季節品		3,473,567	4,559,495
家電品		8,823,536	11,108,855
工事・サービス		2,596,030	2,656,509
その他		816,579	1,353,202
合計		99,864,940	118,012,321

(単位:千円、単位未満切り捨て)

■ 第43期(通期)



■ 第44期(通期)



株式の概況

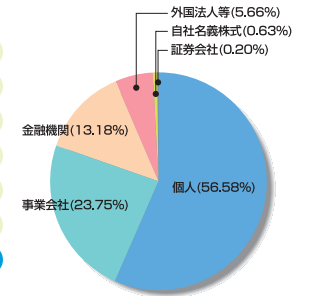
(平成18年3月31日現在)

■ 株式分布状況

- 会社が発行する株式の総数 56,000,000 株
- 発行済株式の総数 15,846,496 株
- 1単元の株式数 100 株
- 株主数 5,282 名

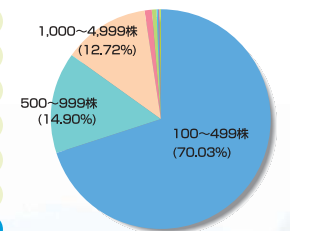
■ 株式の所有者別分布

個人	8,966,000 株	56.58 %
事業会社	3,763,500 株	23.75 %
金融機関	2,088,100 株	13.18 %
外国法人等	897,300 株	5.66 %
自社名義株式	99,796 株	0.63 %
証券会社	31,800 株	0.20 %
合計	15,846,496 株	100.00 %



■ 株式の所有数別分布状況

100~499株	70.03 %
500~999株	14.90 %
1,000~4,999株	12.72 %
5,000~9,999株	1.06 %
10,000~49,999株	0.68 %
50,000~99,999株	0.19 %
100,000~499,999株	0.25 %
500,000~999,999株	0.15 %
1,000,000~4,999,999株	0.06 %
その他	0.00 %
合計	100.00 %



トピックス

1 人事・組織体制の変更

人事・組織体制を変更しグループ経営重視の体制へ

2006年3月代表執行役会長兼CEOに野島廣司が就任し、代表執行役社長兼COOに三枝達実が就任する人事を発表いたしました。会長の野島が今後想定されるM&Aを含めて、グループ全体のシナジーが発揮されるよう経営を行い、長年営業を担当してまいりました三枝が先取気鋭の mindset を持つてノジマの経営に当たります。この変更をもって、より歩みを速く、グループ・単体共に業績を伸長させるべく最善の取組みをしております。

2 (株)ウェィヴをグループ内に迎える

経営理念を共有できる会社とのM&A

2006年1月(株)ウェィヴの発行済株式の全株式を取得いたしました。CD・DVD等の映像、音楽ソフトを取り扱う(株)ウェィヴより(株)イーネット・ジャパンへの商品供給を本格的に開始し、また実験段階ではありますがノジマよりiPod等の半導体、オーディオを(株)ウェィヴに提供開始いたしました。また、(株)ウェィヴ大宮店内にテレマックスの店舗を2006年4月に開設しましたが、今後とも、(株)ウェィヴと携帯販売の(株)テレマックスとの連携をさらに深めるなど、営業的なシナジー効果を発揮するグループ戦略をとってまいります。

3 大規模物流センターの構築

グループ内での共同利用

2006年9月の稼働を目標に新物流センター構築に着工いたしました。新物流センターは神奈川県愛川町に立地し、建築面積4,260坪という大規模なものであります。ノジマだけでなくグループ会社である(株)イーネット・ジャパン、ソロン(株)、(株)ウェィヴでも共同利用を行い、グループ総体として物流面でもシナジー効果を生み出し、グループ全体での更なるローコストオペレーションを進めてまいります。

4 「業界初」を継続的にチャレンジ

話題の新製品の取扱い

2005年11月、(株)イーネット・ジャパンのインターネット上、ならびにノジマの店頭にて、32インチの液晶テレビを99,800円という業界初のプライスで販売を開始し、話題を呼ぶと共に大好評を得ました。2006年4月には、マイクロソフト社の「origami」という規格に準拠した超小型パソコンを業界に先駆け予約を受付開始するなど、常に高感度のアンテナをはりめぐらせ、チャレンジを継続していきます。

5 スクラップ&ビルドを原則とした戦略的出店

新しいエリアに新しい店舗を

第44期におきましては、千葉県に初出店となる「市川店」、東京23区内の「豊洲店」出店等、当社としては新しい地域への出店をいたしました。また、下期におきましては、旧秋川店をスクラップし、3倍の規模にて近接エリアに「あきる野とうきゅう店」をオープンするなど規模拡大だけでなく、スクラップ&ビルドを原則にしながら戦略的に出店を進めております。2006年4月には、茨城県に初となる「守谷店」を出店し、さらには2006年9月を目処に旧相模原本部跡地に「相模原本店」(仮称)をオープンする予定であります。今後ともより多くのお客様にご支持をいただけるよう出店を検討してまいります。

6 エコマースでの好評価、テレビショッピングへの挑戦

グループ会社(株)イーネット・ジャパンの快挙

エコマース市場は急速な拡大を続けておりますが、新規参入も多く市場内の競争は激化の一途を辿っております。グループ会社の(株)イーネット・ジャパンは、これら状況の中、ノジマとの連携強化による魅力的な独自商品の販売等々、プレゼンス強化に努めて来ました結果、「楽天市場」「Yahoo!Shopping」でいずれも5年連続の「ショップ・オブ・ザ・イヤー」賞、および「ベストストア」賞を受賞することができました。また、日本テレビ放送網株式会社を通じたテレビショッピングに挑戦する等、様々なチャネルでグループ連携を固りながらチャレンジを継続してまいります。

7 株主優待券の利用範囲の拡大

ノジマ株主優待券がグループ会社でも利用可能に

この度、株主様よりもお声を頂戴し、株主優待券の利用範囲を拡大いたしました。ノジマ及び携帯電話販売店である(株)テレマックスはもちろん、(株)イーネット・ジャパンでのお買い物にご利用できるようになり、遠隔地の株主様にも以前よりご利用いただきやすくなりました。また、CD・DVD等の映像、音楽ソフトを取り扱う(株)ウェィヴの店舗でもご利用できるようになりました。また、2005年6月より持ち株数100株以上の株主様にご利用頂けるように対象株主様を拡大いたしました。今後につきましても優待制度の拡充を検討してまいります。

8 起業志望の人間にチャンス

若手に年俸制、U25制度

当社は2006年2月に新しく「U25」(アンダー25歳)という採用制度を取り入れました。これは、新規事業プランを持つ25歳未満の人材を、年俸制で採用する制度であり、事業プランが有望であれば一般社員よりも高い報酬体系や独立支援制度を用意しているのが特徴となっており、この制度を通じて、多様な人材獲得することを企図しております。この制度により既に数名が入社し活躍しております。

子会社の状況

1 エコマース子会社(株)イーネット・ジャパン

インターネットショップ先駆の一つとして、知名度と売上を誇るショップを運営

同社は、一切の店舗を有しない販売形態をとっており、インターネットのウェブサイト「い〜でじ!!」を通じて、DVDソフト、オーディオ・ビジュアル、パソコン関連、家電、ゲームソフト等を販売しております。現在、日本のインターネット・ショッピングモールとして最大規模の「楽天市場」および「Yahoo! shopping」を中心に、自社サイトを加えた「い〜でじ!!」ブランドは、インターネットショップ業界では、抜群の知名度と売上を保持しています。平成18年3月期の売上高は9,009百万円、同会員登録数は約60万人を数えます。厳しい状況下で、売上は昨期より減少いたしました。今後、ノジマでは、仕入、物流体制の一元化等、強力バックアップを行い、ノジマグループ内各社の協力体制も確立していくことにより、新しいお買い物形態を提案していける、飛躍の余地を大いに期待できる会社であると考えています。



2 通信事業子会社ソロン(株)および(株)テレマックス

更なる飛躍へ

電話会社の一次代理店であるソロン株式会社と駅前立地の携帯電話、PHS専門店を運営する株式会社テレマックスの2社が通信事業の関連会社となっております。激しい価格競争は依然続いておりますが、従業員の質の向上や適正価格での販売、更にはバックオフィスを含むオペレーションの改善による経費の抜本的な削減、不採算店のスクラップ推進などで、2社を合わせた通信部門の状況は、前年同期比より大幅な増収増益決算となっております。また、お客様の利便性を重視し、「電子マネー」機能やBluetooth機能搭載といった第三代携帯電話の拡販、普及に注力いたしました。2006年度には、同じ電話番号で他社の携帯電話事業者に変更可能な「ナンバー・ポータビリティ」の開始に伴い、キャリア間の垣根を超え、成熟化が進む携帯市場の活性化が見込まれます。したがって、好調な業績を維持すべく、引き続きお客様の立場に立って、利便性の高い商品の普及とサービスの一層の向上に努めてまいります。なお、前期は千葉オーラモールジュンヌ店、スーパービバホーム長津田店、ココネ上福岡店の計3店舗出店し、9店舗閉店いたしました。商圏の拡大できる地域への出店には今後も積極的に取り組んでまいります。



3 音楽・映像ソフト販売子会社(株)ウェィヴ

CD・DVD専門店のチェーン展開(株)ウェィヴ

CD・DVD専門店「WAVE」を14都府県で30店舗展開している同社は、主に、国内及び輸入CD、DVDソフトを中心とした「音・映像ソフト」全般の店頭販売を手がけ、来年には創業30周年を迎えます。出店は大型ショッピングセンターや百貨店などの商業施設を中心に行っており、業界の売上トレンドが厳しい中、品揃え・店頭販売企画の強化、又、従来のヤング層に併せ、大人・ファミリー層の支持獲得に努め、平成18年2月期は売上高9,315百万円を計上しました。

ノジマ子会社 音楽CDを通販 ウェイウの在庫、1割強安く

ノジマ子会社のイーネット・ジャパン（EJN）の品ぞろえは、まず百一発売から三四月で九は通販サイト「いっでじ」二百タイトルで始め、四割近くが売れる。このた〃で音楽CDの販売を始めた。ノジマが買収したCD販売店チェーン「新譜」と、おおむね六月に設定される期限の旧譜の在庫などを割引販売の期間内の「準新譜」が合せて約六割、再販期間を過ぎた「旧譜」が一割四割になる見通しだ。ウェイウで在庫となった旧譜は十割の割引で販売する。音楽CDは「ハ一部の一弾として十日に一五

▲日経MJ (2006.3.8)

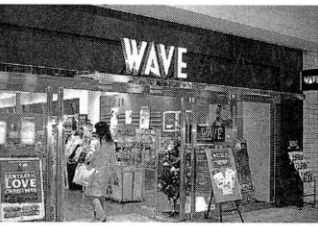
割引の「J-POP極上セレクション」セールを始める。店舗では在庫を持つことが難しい愛好家向けタイトルも扱い、新たな顧客も開拓する。

とすると、毎人数人を通年で採用する。応募者が提案する新規事業プランは例えば「携帯電話の販売や情報サービス」など、内容は多岐にわたる。同社の事業分野に少しでもかかわる内容なら採用される。応募者の人物や素性などを見極めたうえで、社員が契約社員として採用し、まずは出張や融資のほか経営指導などもして独立まで支援する。

▲日本経済新聞 (2006.2.3)

ノジマ、韓国製 液晶TV 32型、10万円を切る

「WAVE」タワーレコードから



ノジマが買収する「WAVE」の店舗（さいたま市）

家電販売店のノジマは音楽ソフト販売のタワーレコード（東京・品川）子会社でCD店「WAVE」を展開する。ウェイウ（東京・渋谷）でタワーレコードから全株式を取得する。都心部やミニマルに多いWAVE店舗で携帯電話や音響機器を併売し、首都圏郊外が中心だった営業地盤を広げる。タワーレコードとは音楽配信事業などでも協業を検討する。

ノジマは韓国製の液晶TV 32型を10万円を切る。ノジマは韓国製の液晶TV 32型を10万円を切る。ノジマは韓国製の液晶TV 32型を10万円を切る。

ノジマは韓国製の液晶TV 32型を10万円を切る。ノジマは韓国製の液晶TV 32型を10万円を切る。ノジマは韓国製の液晶TV 32型を10万円を切る。

▲日本経済新聞 (2005.12.22)

▲日本経済新聞 (2006.3.30)

全株取得、携帯を併売

ノジマは韓国製の液晶TV 32型を10万円を切る。ノジマは韓国製の液晶TV 32型を10万円を切る。ノジマは韓国製の液晶TV 32型を10万円を切る。

ノジマは韓国製の液晶TV 32型を10万円を切る。ノジマは韓国製の液晶TV 32型を10万円を切る。ノジマは韓国製の液晶TV 32型を10万円を切る。

▲日本経済新聞 (2006.4.14)

▲日本経済新聞 (2006.4.14)

主な企業名	利益率	内容
アルビオン	74.30	無償で提供
アールビオン	16.84	無償で提供
プロオン	16.04	無償で提供
プロオン	13.07	無償で提供
プロオン	12.73	無償で提供
プロオン	10.71	無償で提供
プロオン	10.00	無償で提供
プロオン	9.29	無償で提供
プロオン	8.03	無償で提供

ノジマは韓国製の液晶TV 32型を10万円を切る。ノジマは韓国製の液晶TV 32型を10万円を切る。ノジマは韓国製の液晶TV 32型を10万円を切る。

ノジマは韓国製の液晶TV 32型を10万円を切る。ノジマは韓国製の液晶TV 32型を10万円を切る。ノジマは韓国製の液晶TV 32型を10万円を切る。

▲日本経済新聞 (2006.4.14)

ノジマ 期末配1円上乗せ

ノジマは韓国製の液晶TV 32型を10万円を切る。ノジマは韓国製の液晶TV 32型を10万円を切る。ノジマは韓国製の液晶TV 32型を10万円を切る。

ノジマは韓国製の液晶TV 32型を10万円を切る。ノジマは韓国製の液晶TV 32型を10万円を切る。ノジマは韓国製の液晶TV 32型を10万円を切る。

▲日経MJ (2006.3.22)

▲日本経済新聞 (2006.3.14)

タッチパネル携帯PC「オリガミ」国内第1号を発売

ノジマは韓国製の液晶TV 32型を10万円を切る。ノジマは韓国製の液晶TV 32型を10万円を切る。ノジマは韓国製の液晶TV 32型を10万円を切る。

ノジマは韓国製の液晶TV 32型を10万円を切る。ノジマは韓国製の液晶TV 32型を10万円を切る。ノジマは韓国製の液晶TV 32型を10万円を切る。

▲日本経済新聞 (2006.3.11)

▲日本経済新聞 (2006.3.11)

ネットでも楽器販売

ノジマは韓国製の液晶TV 32型を10万円を切る。ノジマは韓国製の液晶TV 32型を10万円を切る。ノジマは韓国製の液晶TV 32型を10万円を切る。

ノジマは韓国製の液晶TV 32型を10万円を切る。ノジマは韓国製の液晶TV 32型を10万円を切る。ノジマは韓国製の液晶TV 32型を10万円を切る。

▲日本経済新聞 (2006.4.4)

▲日本経済新聞 (2006.4.4)

女性販売員が指南

ノジマは韓国製の液晶TV 32型を10万円を切る。ノジマは韓国製の液晶TV 32型を10万円を切る。ノジマは韓国製の液晶TV 32型を10万円を切る。

ノジマは韓国製の液晶TV 32型を10万円を切る。ノジマは韓国製の液晶TV 32型を10万円を切る。ノジマは韓国製の液晶TV 32型を10万円を切る。

▲日本経済新聞 (2006.3.11)

▲日本経済新聞 (2006.3.11)

当社グループ関連主要記事



ノジマは韓国製の液晶TV 32型を10万円を切る。ノジマは韓国製の液晶TV 32型を10万円を切る。ノジマは韓国製の液晶TV 32型を10万円を切る。

ノジマは韓国製の液晶TV 32型を10万円を切る。ノジマは韓国製の液晶TV 32型を10万円を切る。ノジマは韓国製の液晶TV 32型を10万円を切る。

▲日本経済新聞 (2006.3.11)

▲日本経済新聞 (2006.3.11)

ノジマは韓国製の液晶TV 32型を10万円を切る。ノジマは韓国製の液晶TV 32型を10万円を切る。ノジマは韓国製の液晶TV 32型を10万円を切る。

▲日本経済新聞 (2006.3.11)

▲日本経済新聞 (2006.3.11)

● 会社の概要 (平成18年6月18日現在)

商号	株式会社ノジマ(店頭登録：7419)	
英文名	NOJIMA CORPORATION	
本社所在地	〒231-0015 神奈川県横浜市中区尾上町6-90 HS大江橋ビル5F TEL：050(3116)1212 FAX：050(3116)1250 URL：http://www.nojima.co.jp	
設立	昭和37年4月	
資本金	24億3,009万円	
役員	<ul style="list-style-type: none"> ● 取締役兼代表執行役会長 / 野島 廣司 ● 取締役 / 小林 稔忠 (社外) ● 取締役兼代表執行役社長 / 三枝 達実 ● 取締役 / 戸谷 雅美 (社外) ● 取締役兼執行役常務 / 中塚 康二 ● 取締役 / 北村 一夫 (社外) ● 取締役兼執行役 / 庄司 友彦 ● 取締役 / 梅津 武 (社外) ● 取締役 / 石坂 洋三 ● 取締役 / 石井 允三幸 (社外) ● 取締役兼執行役 / 米津 正義 ● 執行役 / 佐藤 丈三 ● 取締役 / 池戸 亨 ● 執行役 / 温盛 元 ● 取締役 / 桜井 威 ● 執行役 / 倉持 昭彦 ● 取締役 / 仙波 昂 (社外) 	
社員数	515名(平成18年3月31日現在) 平均年齢/32.2歳	
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ● パソコン、プリンター等のIT・情報関連 ● 携帯電話、PHS、FAX等の通信関連 ● TV、ビデオ、ムービー等のAV関連 ● ゲーム機器の家庭用ゲーム関連 ● エアコン、冷蔵庫、電子レンジ等の家庭用電気製品の販売 <p style="text-align: center;">各種機器及びソフトの販売</p> <p>※ 店舗名称は、「ノジマ」「コムドック」「でんわ館」と専門性を活かした独自の業態で展開</p>	
連結子会社	<ul style="list-style-type: none"> ● (株)イーネット・ジャパン / インターネットショップ「い〜でじ!!」運営 ● ソロン(株) / 通信機器卸売 ● (株)テレマックス / 駅前立地型携帯電話・PHS等通信機器専門店 ● (株)ウェイブ / CD・DVD等の音楽・映像ソフトの販売 ● (株)オー・ティ・エス / 一般労働者派遣事業及び有料職業紹介事業 	
主要取引先	<ul style="list-style-type: none"> ● ソニーマーケティング ● NECパーソナルプロダクツ ● シャープエレクトロニクスマーケティング ● 三菱電機ライフネットワーク ● キヤノンマーケティングジャパン ● ボーダフォン ● 松下コンシューマエレクトロニクス ● 東芝コンシューママーケティング ● 富士通パーソナルズ ● エプソン販売 ● NTTドコモ ● au ほか 	
取引銀行	<ul style="list-style-type: none"> ● 三菱東京UFJ銀行 / 相模原支社 ● みずほ銀行 / 町田支店 ● 横浜銀行 / 相模原駅前支店 	

● 営業店舗 (平成18年6月18日現在)

神奈川県	相模原市	● 古淵本店 042-767-5561	静岡県	伊東市	● 伊東店 0557-35-3001	
		● 相模原店 042-753-1516		沼津市	● 沼津店 055-927-2951	
	津久井郡	● 新城山店 042-783-0611		裾野市	● 裾野店 055-994-1530	
	座間市	● 座間店 046-298-1701		富士市	● 富士店 0545-65-7021	
	厚木市	● NEW厚木店 046-296-6121		静岡市	● 岡町店 0543-55-0395	
	愛甲郡	● 愛川店 046-284-1562		藤枝市	● 藤枝店 054-647-2222	
	伊勢原市	● 伊勢原店 0463-91-1214		掛川市	● 掛川店 0537-61-9661	
	秦野市	● 秦野店 0463-83-1214		磐田市	● 磐田店 0538-21-2371	
	川崎市	● 東名川崎店 044-871-8371		長野県	松本市	● 松本店 0263-85-4457
		● 溝の口店 044-822-2525			安曇野市	● 豊科店 0263-71-1570
		● ComDock 溝の口店 044-812-2404		山梨県	甲府市	● NEW甲府店 055-228-2911
横浜市	● NEW青葉台店 045-962-4886	都留市	● 都留店 0554-46-1422			
	● 横浜四季の森店 045-958-1561	富士吉田市	● 富士吉田店 0555-30-0011			
藤沢市	● 藤沢店 0466-31-6377	韮崎市	● 韮崎店 0551-30-0021			
	● 湘南台店 0466-46-7822	相模原市	● 守谷店 0297-21-1550			
茅ヶ崎市	● 茅ヶ崎店 0467-54-0880	新業態店				
綾瀬市	● 綾瀬店 0467-79-5279	神奈川県	藤沢市	● オーディオ スクウェア藤沢店 0466-31-0603		
小田原市	● 鴨宮 家電館 0465-49-1230			● 法人営業グループ (藤沢) 0466-31-6377		
	● 鴨宮店 0465-45-2345	座間市	● 法人営業グループ (座間) 046-298-1701	● 法人営業グループ (鎌倉) 0467-42-1422		
定柄上部	● 大井松田店 0465-82-8168	鎌倉市	● 法人営業グループ (C相模原) 042-769-7294			
定柄下部	● 湯河原店 0465-64-1688	通信専門店				
	● ComDock 湯河原店 0465-64-1687	神奈川県	相模原市	● でんわ館 相模原店 042-769-6928		
鎌倉市	● 鎌倉店 0467-42-1422			● auショップ相模原店 042-751-5007		
東京都	港区	● 六本木店 03-5771-4736	相模原市	● ボーダフォンショップ相模原店 042-769-0075		
足立区	● 北千住マルイ店(8F) 03-3888-7571	中野区	● 丸井中野本店(A館4F) 03-3229-2011	● ツーカーショップ相模原店 042-769-6932		
江東区	● 豊洲店 03-3533-9211	町田市	● 忠生店 042-792-3151	● ボーダフォンショップ相模原駅ビル店 042-730-7861		
	● 忠生店 042-792-3151		● 多摩境店 042-700-0651	● ドコモショップ三ツツ橋本店 0120-820-660		
	● NEW鶴川店 042-737-6031	厚木市	● でんわ館EXPRESS 厚木店 046-297-1030	● ドコモショップ向ヶ丘遊園店 0120-353-360		
国分寺市	● マルイファミリー国分寺店(7F) 042-326-6511	川崎市	● ドコモショップ新百合ヶ丘店 0120-650-150	● ボーダフォンショップ新百合ヶ丘店 044-959-1270		
八王子市	● 八王子南店 042-664-1214	横浜市	● ドコモスポットたまプラーザ店 0120-082-477	● ドコモスポットみどり橋本店 0465-45-2344		
小平市	● 小平店 042-343-1422	小田原市	● でんわ館EXPRESS 鴨宮店 0465-45-2344	東京都		
青梅市	● NEW青梅デジタル館 0428-32-1215	港区	● でんわ館 六本木店 03-5771-4736	● でんわ館 小平店 042-343-5401		
	● 青梅家電館 0428-31-0850	小平市	● でんわ館 府中店 042-358-5511	静岡県		
あきる野市	● あきる野とうきゅう店 042-559-1400	府中市	● ドコモショップ藤原店 0120-345-595	山梨県		
埼玉県	所沢市	● 所沢本店 04-2903-1481	富士吉田市	● でんわ館 富士吉田店 0555-21-1012		
		● 東所沢店 04-2951-1545				
	さいたま市	● 大宮店 048-661-8366	<ul style="list-style-type: none"> ■ い〜でじ!!本店 :http://www.enet-japan.com/ ■ い〜でじ!!楽天市場店 :http://www.rakuten.co.jp/edigi/ ■ い〜でじ!!楽天ゲーム館 :http://www.rakuten.co.jp/edigi-game/ ■ い〜でじ!!楽天シネマ :http://www.rakuten.ne.jp/gold/cinema/ ■ い〜でじ!!Yahoo店 :http://store.yahoo.co.jp/digicon/ ■ い〜でじ!!映画館 :http://store.yahoo.co.jp/digiconeiga/ ■ い〜でじ!!ライブドア店 :http://tenant.depart.livedoor.com/t/edigi-ld/ ■ い〜でじ!!ムービー :http://tenant.depart.livedoor.com/t/edigi-movie/ 			
		● 浦和店 048-712-4811				
	上尾市	● NEW上尾店 048-773-5577				
	越谷市	● 越谷店 048-979-6851				
	吉川市	● 吉川店 048-984-1020				
	入間郡	● 三芳店 049-274-1650				
千葉県	市川市	● 市川店 047-329-6901				

テレマックス営業店舗

神奈川県	相模原市	● ミウイ橋本店 042-700-7559
	横浜市	● ダイエー戸塚店 045-860-1333
		● モザイクモール港北店 045-914-2857
		● ダイエー三ツ境店 045-360-6248
		● イトーヨーカドー上大岡店 045-840-0234
		● エスポット新横浜店 045-533-5281
		● 京急ストア鶴見東店 045-508-6181
		● スーパービバホーム長津田店 045-989-5188
	川崎市	● マルエツ溝の口店 044-822-9326
		● アコルデ新百合ヶ丘店 044-955-6028
	平塚市	● ラスカ平塚店 0463-20-2031
小田原市	● ダイナシティイーストモール店 0465-46-1151	
横須賀市	● ショッパーズプラザ横須賀店 046-820-0168	
東京都	江東区	● 東京イースト21店 03-5634-7481
	足立区	● 西新井トスカ店 03-5681-6001
		● エトセトラ綾瀬店 03-5673-5231
	大田区	● アトレ大森店 03-5764-8241
	板橋区	● ダイエー成増店 03-5967-0388
	杉並区	● 阿佐ヶ谷ダイヤ街店 03-5364-1671
	西東京市	● ひばりが丘パルコ店 042-425-5030
	多摩市	● グリナード永山店 042-356-8761
		● 丘の上プラザ店 042-338-5901
	日野市	● auショップ高幡不動駅前店 042-599-7431
	八王子市	● 京王八王子SC店 042-660-5023
	世田谷区	● 成城学園前店 03-5429-0581
		● 下北沢駅前店 03-5779-3621
		● 経堂駅前店 03-5450-7511
	新宿区	● 高田馬場店 03-5292-0531
	府中市	● くるる府中店 042-358-2521
埼玉県	所沢市	● 新所沢パルコ店 042-925-8714
	ふじみ野市	● ビバモール埼玉大井店 049-256-8811
		● ココネ上福岡店 049-256-6151
	飯能市	● 飯能サピア店 042-971-1441
	藤市	● イトーヨーカドー錦町店 048-447-7735
	越谷市	● 新越谷ヴァリエ店 048-986-0412
	桶川市	● 桶川マイン店 048-789-0701
	加須市	● 加須カタクラパーク店 0480-63-3211
	さいたま市	● 大宮ロフト店 048-648-6201
		● マルヒロ南浦和店(仮称)
千葉県	千葉市	● プレナ幕張店 043-299-6100
		● 千葉オーロラモールジュンヌ店 043-301-9791
	船橋市	● ザミット馬込沢店 047-429-1408
静岡県	静岡市	● 清水店 0543-44-6811
愛知県	名古屋	● 大須店 052-251-6071
三重県	四日市市	● 四日市店 0593-47-1292
岐阜県	岐阜市	● 岐阜店 058-233-6203

● 営業店舗 (平成18年4月30日現在)

株式会社ウェイブ営業店舗

本社	〒231-0015 神奈川県横浜市中央区尾上町6-90 HS大江橋ビル5F
● 営業本部	店舗運営部 050-3116-2966
	マーチャンダイジング部 050-3116-2982
	商品販促部 050-3116-2972
	宣伝販促部 050-3116-2976
	メディア事業部 050-3116-2987
● 管理本部	企画グループ 050-3116-2948
	人事グループ 050-3116-2950
	総務グループ 050-3116-2952
	経理グループ 050-3116-2955
	商品管理グループ 050-3116-2957
	システムグループ 050-3116-2958
池袋店	〒171-0022 東京都豊島区南池袋1-28-1 西武百貨店池袋店
● 代表	03-5949-5670
● 船橋店	047-425-3289
● 高槻店	072-684-2211
● つくばクレオスクエアQ't店	029-855-5621
● 所沢店	04-2927-3313
● 小手指店	04-2923-7650
● 大泉店	03-3978-5906
● 錦糸町店	03-3632-7133
● 光が丘店	03-3976-7401
● 田無店	0424-66-1499
● 仙台長町店	022-308-2689
● 松本店	0263-38-2265
● 新所沢店	04-2998-8030
● 大宮店	048-648-6916
● 東戸塚店	045-827-0191
● 福井店	0776-20-6290
● 成田店	0476-23-8252
● 川口店	048-262-1094
● 赤坂店	03-3588-5066
● 環屋川店	072-831-5061
● みずほ店	042-556-4762
● 伊丹店	072-770-2955
● 広島アルパーク店	082-278-6111
● 汐留店	03-5537-2642
● 佐野店	0283-21-6123
● 大宮宮原ステラタウン店	048-653-4550
● 木曾川店	0586-86-9627
● 有松店	052-626-2459
● 三郷店	048-954-1828
● 大垣店	0584-78-0972

● 株主メモ (平成18年3月31日現在)

決算期	毎年3月31日に決算を行います。
定時株主総会	毎年6月に開催いたします。
基準日	3月31日
中間配当基準日	9月30日(中間配当を実施する場合)
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内1丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所 (お問い合わせ先)	〒100-8212/東京都千代田区丸の内1丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒171-8508/東京都豊島区西池袋1丁目7番7号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話(0120)707-696(フリーダイヤル)
同 取 次 所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
公 告 掲 載	電子広告 ※ やむを得ない事由により電子広告によることのできない場合は、日本経済新聞に掲載致します。 ※ 決算公告に代えて、貸借対照表および損益計算書の開示は、当社ホームページ(http://www.nojima.co.jp/ir)に掲載しております。

株主優待制度

株 主 優 待 券	3月31日及び9月30日現在で議決権を有する株主に対し、「株主優待券(10%割引)」を年2回贈呈
贈 呈 基 準	所有株式数100株以上500株未満保有の株主に対し、10,000円の優待割引券(1,000円券×10枚)を1冊、同500株以上2,000株未満保有の株主に対し、25,000円の優待割引券(1,000円券×25枚)を1冊、同2,000株以上保有の株主に対し、2冊(50,000円)をそれぞれ半期毎1回、贈呈する。
利 用 方 法	現金、デビットカード、ノジマショッピングクレジットによる支払いの場合には優待割引券の使用により通常売価の10%が割引になる。またクレジットカードによる支払いの場合には優待割引券の使用により購入金額の8%が割引になる。但し、株式会社イーネット・ジャパンでの購入の場合は後日相当額を現金で割り戻す。
有 効 期 限	● 3月31日発行基準の優待割引券/翌年1月31日まで有効 ● 9月30日発行基準の優待割引券/翌年7月31日まで有効
取 扱 店 舗	● 株式会社ノジマの全店舗 ● 株式会社イーネット・ジャパンの自社サイト上(www.enet-japan.com) ● 株式会社ウェイブの全店舗 ● 株式会社テレマックスの全店舗 ※ ノジマグループ各社の店舗のない地域にお住まいの株主で、ご優待割引券を使用して、当社のお取り扱い商品をお買い求めになりたい方は、(株)イーネット・ジャパンでのご利用をお勧め申し上げます。同社をご希望されない場合は、アンケートハガキ、ファックスを使って、(株)ノジマ総務企画グループ宛に、または当社ホームページからお問合わせフォームを使って(株)ノジマカスタマーセンター宛に住所、氏名、電話番号、株主NO.と共に、商品名、メーカー名、型番名等をお知らせください。当社からご連絡させていただきます。